



段ボールを使用した簡易トイレを製作する高校生
(高知市の高知東高)

震災対策 高校生が協議

県内 簡易トイレ製作も 高知市
9校70人

学校にいるとき南海地震が起きたらどうする？ 学校での防災を高校生同士で話し合おうと二十日、高知市一宮の高知東高校で、県内九校の高校生約七十

人がグループ討論や訓練を行った。

討論は、震災時に地域の避難場所となる学校内での「水」「食料」「トイレ」をどうするかについて、三班

に分かれて協議。

「水」は、井戸や川から水を運ぶため、協力してバケツリレーを行うなどの意見が出され、「各自で備蓄しておく」ことも確認。「食料」は、電気が使えないことを前提に、「ライターやガスコンロ、薪(まき)、ティッシュ、非常

食などをあらかじめ備え付けることした。「トイレ」は紙不足や水道の停止を想定し、「家庭科室から布を補給する」「プールの水を使用」などといった意見も。混雑時には「お年寄りや子どもを優先」することを確認したほか、実際に段ボールで簡易トイレを製作した。生徒たちはこのほか、ロープで命綱の結び方などを学習。豚汁の炊き出しもを行い、大災害の非常時を疑似体験していた。

きのうの気温

	最高	最低	20日	天気
高室足	16.5 (2.9高)	3.5 (0.7高)	晴	晴
知戸摺	16.2 (4.0高)	9.6 (2.7高)	晴	晴
	17.1 (3.3高)	9.1 (1.9高)	晴	晴
高室足	8.1 (6.6高)	-5.8 (2.5高)	晴曇	晴
知戸摺	7.6 (6.4高)	0.3 (5.6高)	快晴	晴
高室足	13.8 (6.3高)	0.3 (0.3高)	快晴	晴
高室足	13.5 (6.9高)	6.3 (2.3高)	快晴	晴
高室足	14.6 (6.1高)	1.7 (0.2低)	快晴	晴
高室足	11.9 (6.1高)	-2.5 (3.1高)	快晴	晴
高室足	17.1 (3.8高)	6.3 (3.1高)	快晴	晴
高室足	14.3 (3.5高)	1.5 (0.6低)	快晴	晴
高室足	15.7 (6.5高)	0.8 (1.0低)	快晴	晴
高室足	14.8 (3.9高)	1.6 (0.8低)	快晴	晴
高室足	15.1 (3.7高)	3.5 (0.3高)	快晴	晴
高室足	14.2 (3.4高)	2.7 (0.7高)	快晴	晴
高室足	17.4 (7.1高)	3.4 (0.2高)	快晴	晴
高室足	14.5 (3.2高)	2.4 (0.4高)	快晴	晴
高室足	16.8 (5.1高)	4.0 (0.2高)	快晴	晴
高室足	17.0 (5.2高)	5.0 (0.2高)	快晴	晴
高室足	17.4 (3.0高)	4.5 (1.1低)	快晴	晴
高室足	21.6 (1.0高)	13.4 (2.3低)	快晴	晴

午後3時まで。カッコは平年差。天候は午後3時

行動する高校生頼もしい

救助法学び食料確保討論

高知東高 演習に9校から70人

南海地震きょう62年

県内の高校生が南海地震や防災について学ぶ演習が20日、高知市一宮徳谷の県立高知東高で行われた。9校の生徒約70人が参加し、災害時の救助の方法を学び、学校が孤立したことを想定して、水や食料の確保をどうするかなどの意見を出し合った。同高では「生徒同士の目線で防災について考え、学校での防災活動に生かしてもらえれば」と期待している。



がれきからの救出用に、ジャッキアップを体験する生徒ら(高知市の高知東高で)

昭和南海地震は1946年12月21日に発生。防災学習を授業に取り入れている同高が、南海地震の教訓を生かそうと他校にも呼びかけ、起こった日に近いこの日実施した。救助体験では、がれきをジャッキアップする方法や、柱に見立てた木材を切断するためのノコギリの使い方、流された人を

地域学習に取り組む田野町の県立中芸高1〜3年生78人が20日、同町ふれあいセンターで、成果を披露する初の発表会を開いた。

同校は2006年、昼間部と夜間部のある単位制多部制への改編を機に、地域との連携を深める「中芸学」を総合学習に取り入れた。1年生は郷土理解、2年生はボランティア、3年生

「中芸学」が将来決めた

田野 地域学習の成果発表

は防災など、生徒が決めたテーマに取り組んでいる。

発表会では、1年は地域の伝統太鼓「烈士太鼓」を演奏。2年生は町内の老人介護施設でのボランティアや清掃活動を取り上げたほか、3年生は周辺市町村の防災活動の取り組みをまとめるなどした。

介護施設でのボランティアがきっかけでディサービス施設への就職を決めたという3年の和田和沙さん(18)は「中芸学を通して将来が決められた。頑張りたい」と話していた。

救助するためのロープの結び方などを学んだ。

また、授業中に地震が発生して津波で浸水し、学校が孤立したとの想定で討論を行った。水は、飲料や手洗いなどのほか「熱中症の治療でも必要」と指摘し、川の水、雨水、自動販売機の飲料水などを、トイレや飲料用に使い分けることを提案。食事では「全員に行き渡らないときのルールが必要」、トイレでは「後の手洗いはどうするか」などの意見や課題が出された。

高知東高3年の森崎裕人さんは「学校によって違いがある」とを初めて知った。土佐塾高2年の森岡敬登さんは「対処法も色々ある。ことに

「気付いた」と話していた。

昭和南海地震で県内は、強い揺れのほか津波による

被害が発生。679人が死亡・行方不明となり、4846戸が全壊・流失した。



少年野球チームの選手を激励する沢田市長(手前右)ら(四万十市役所で)

少年野球大会に出場 四万十市選抜 市長が激励

26日から神戸市のスカイマークスタジアムで開かれる少年野球大会「第一回ベイスボールスピリッツ杯」に出場する四万十市選抜チーム「四万十ボーイズ」の6年生20人が19日夕、同市役所を訪れ、沢田五十六市